

# 小林市環境基本計画

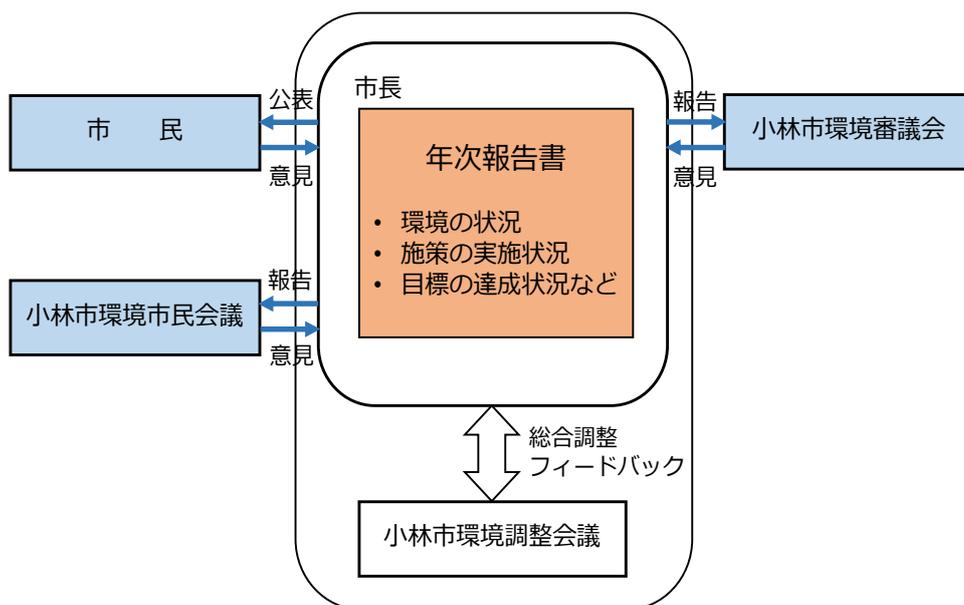
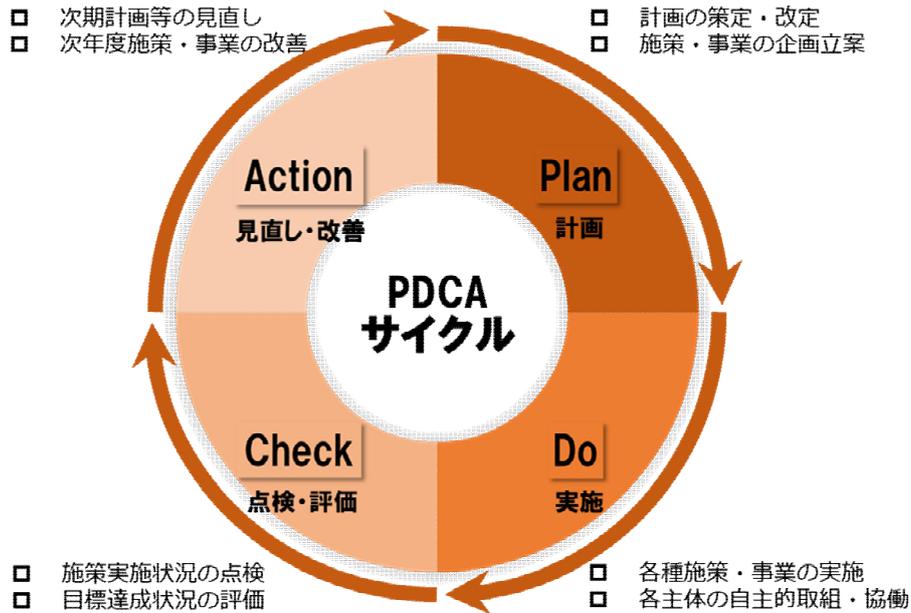
(令和5年度～令和14年度)

## 年次報告書

令和5年12月  
宮崎県小林市

# 年次報告書について

年次報告書は、PDCA サイクルにより運用管理される本計画の進行管理を行うため、各種会議の意見・調整を経て作成するものです。



# 環境目標と施策の基本方針に基づく具体的目標

本計画の環境目標、施策の基本方針、具体的目標は次のとおりです。  
 具体的目標に基づき設定している数値目標について評価を行います。

環境目標	
施策の基本方針	具体的目標
1 脱炭素の取組を推進し、地球環境にやさしいまち	
(1) 温室効果ガスの排出削減	a 省エネルギー対策や省資源化等を推進する
(2) 再生可能エネルギー等の利用促進	a 再生可能エネルギー等の導入を促進する
(3) 地球環境にやさしいまちづくり	a 効率的で効果的な公共交通網を整備する      b 森林などによる二酸化炭素の吸収を促進する
(4) 気候変動への適応	a 気候変動影響と適応策への理解を促進する      b 農林水産分野 c 水環境・水資源分野      d 自然生態系分野 e 自然災害分野      f 健康分野
2 地域の資源が循環し、ごみの少ないまち	
(1) ごみの4Rの推進	a ごみの減量化を推進する      b 高いリサイクル率を維持する c 食品ロスを削減する      d プラスチック資源循環に向けた取組を推進する
(2) 廃棄物の適正処理の推進	a ごみ処理・処分場の維持管理と適正化を推進する      b 不法投棄ゼロを目指す
(3) バイオマス資源利活用	a 家畜排せつ物を有効活用する      b 木質資源の有効活用を促進する
(4) 環境保全型農業	a 環境に配慮した地域循環型農業を実施する      b 持続可能な農業基盤づくりを推進する
3 豊かな自然の恵みと共生できるまち	
(1) 豊かな湧水の保全	a 豊かな湧水を保全する
(2) すぐれた自然、身近な自然の保全	a すぐれた自然を適正に保全する      b 身近な自然を保全する c 外来生物対策を推進する      d 自然環境に配慮した開発整備を推進する
(3) 人と自然とのふれあいの場の確保	a 自然とふれあう空間を整備する      b 自然とのふれあい活動を推進する
(4) 植林地の適正管理と照葉樹林の育成	a 計画的な森林の整備と保全を行う      b 水源林整備を促進する c 防災のための治水・治山対策を推進する
4 安心して安全かつ快適な暮らしができるまち	
(1) 快適で安全な空間の整備	a 公園緑地を整備する      b 地域緑化を推進する
(2) 人にやさしい都市基盤の整備	a 都市基盤における安心安全を確保する      b 人にやさしいまちづくりを推進する
(3) 良好な水環境の保全	a 水質環境基準を達成し、維持する      b 大淀川水系などの源流域の保全に努める
(4) 大気汚染、悪臭、騒音など公害防止体制の整備	a 大気環境を保全する      b 悪臭の防止に努める c 騒音の防止に努め、快適な音環境を創出する      d 化学物質対策を推進する e 公害防止体制を整備する
5 みんなで考え、自主的に環境保全に取り組むまち	
(1) 環境教育、環境学習の推進	a 学校や地域の環境教育・環境学習を推進する      b 家庭における環境教育を促進する c 環境情報の発信と共有を促進する      d 自然や資源を生かした交流を促進する
(2) 環境保全活動の推進	a 環境保全活動を推進する      b 市民・事業者などの自主的活動を促進する c 次世代の環境の担い手づくりを推進する

## 点検・評価について

### ■個別施策の点検

個別施策の点検は、中間年度（令和9年度）に計画当初との状況の相違による内容変更などがあるものについて行います。

### ■数値目標の評価

数値目標の評価は、実績値欄に最新の実績値及び括弧書きで実績年度を記入し、取組内容欄へ取組を簡潔に記載して行います。

目標値は、計画の最終年度である令和14年度（2032年度）の値です。ただし、諸事情により年度が異なるもののみ、目標年度を括弧書きで記入します。

なお、計画の数値指標項目に複数の目標値が設定されているものについては、分けて記載してあります。

#### 【記載例】小林市の温室効果ガス排出量

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
生活環境課	市全体の温室効果ガス排出量	千 t-CO <sub>2</sub>	201	322 (R2)	市報などにより省エネの取組に関する啓発を行った。

### ■重点プロジェクトの点検

重点プロジェクトの点検は、計画に記載されたそれぞれの取組内容に対して前年度に行った取組の実績を記載する形で行います。

# 施策の実施状況の点検と目標の達成状況の評価

## 1 脱炭素の取組を推進し、地球環境にやさしいまち

### (1) 温室効果ガスの排出削減【環境基本計画 18頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
生活環境課	市全体の温室効果ガス排出量	千 t-CO <sub>2</sub>	201	322 (R2)	市報などにより省エネの取組に関する啓発を行った。
生活環境課	温室効果ガス排出量 (小林市の庁舎・事業からの排出量)	t-CO <sub>2</sub>	5,587	7,547 (R4)	庁内セミナーを実施し、職員の意識啓発を図った。
管財課	公用車に占める次世代自動車の導入台数(累計)	台	10	6 (R4)	遠距離走行する車両のうち、6台のハイブリッド車を導入している。
危機管理課	街灯(防犯灯・安全灯)のLED化率	%	85	50.1 (R4)	老朽化が著しい蛍光灯及び白熱球について球切れの際、順次LED化を実施した。

### (2) 再生可能エネルギー等の利用促進【環境基本計画 23頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
生活環境課	再エネ電力の導入量	MW	60.5	56.7 (R3)	庁内の状況把握及び協議する場の検討を行った。
学校教育課	小・中学校への太陽光発電設備設置数	校	8	8 (R4)	校舎の設備の更新に併せて設置を検討する。

### (3) 地球環境にやさしいまちづくり【環境基本計画 25頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
企画政策課	有償運送バス(コミュニティバス、須木区福祉バス、野尻町区福祉バス)の利用者数	人	32,800	27,900 (R4)	コミュニティバス:乗降調査等を実施し、ダイヤの見直しなどを検討した。 福祉バス:アンケートを実施

					し、利用目的や満足度等の調査を行った。内山線については、帰りの運行時間「16時～17時」を「13時30分～14時30分」に改善した。
--	--	--	--	--	--

**(4) 気候変動への適応【 環境基本計画 28 頁 】**

**■ 数値目標の評価**

設定なし

## 2 地域の資源が循環し、ごみの少ないまち

### (1) ごみの4Rの推進【環境基本計画 33頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
生活環境課	市民1人1日あたりの一般廃棄物排出量	g人 ／日	285 (R16)	394 (R4)	ふれあい収集制度の促進。 生ごみ処理機購入費補助の実施。
生活環境課	一般廃棄物資源化率	%	69.40	58.00 (R4)	適正な分別方法等の情報を 広報紙、情報アプリを活用し 市民へ周知。
農業振興課	農業用廃プラスチック回収量	t	200	189 (R4)	農業用廃プラスチックの適 正処理のため収集及び適正 排出の周知等を実施。

### (2) 廃棄物の適正処理の推進【環境基本計画 37頁】

#### ■数値目標の評価

設定なし

### (3) バイオマス資源利活用【環境基本計画 39頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
畜産課	庁内の畜産環境アドバイザー数	人	5	5 (R4)	一般財団法人畜産環境整備 機構が行う畜産環境対策技 術研修会を通じて畜産環境 アドバイザーの確保に努め た。
畜産課	家畜排せつ物（バイオマス）利活用率（廃棄系）	%	検討中	調査中	令和6年度中に小林市バイオ マス産業都市構想を見直す 庁内協議の場を設ける予定。
畜産課	家畜排せつ物（バイオマス）利活用率（未利用系）	%	検討中	調査中	令和6年度中に小林市バイオ マス産業都市構想を見直す 庁内協議の場を設ける予定。

※検討中の目標値は、小林市バイオマス産業都市構想見直し時に設定予定

#### (4) 環境保全型農業【環境基本計画 42 頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
農業振興課	農業廃プラスチック回収量（再掲）	t	200	189 (R4)	農業用廃プラスチックの適正処理のため収集及び適正排出の周知等を実施。

### 3 豊かな自然の恵みと共生できるまち

#### (1) 豊かな湧水の保全【環境基本計画 45 頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
生活環境課	地下水の環境基準適合状況	%	100	100 (R4)	湧水や地下水の水質検査を行った。

#### (2) すぐれた自然、身近な自然の保全【環境基本計画 47 頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
生活環境課	宮崎県レッドデータブック・環境省レッドリストなどに該当する動物の種数	種	107	107 (R2)	希少野生動物の生息状況等調査は、高度な専門知識と経験が必要なため、取組は困難な状況になっている。
生活環境課	宮崎県レッドデータブック・環境省レッドリストなどに該当する植物の種数	種	171	171 (R2)	希少野生動物の生息状況等調査は、高度な専門知識と経験が必要なため、取組は困難な状況になっている。
上下水道課	農業集落排水事業加入率	%	91.4	88.0 (R4)	農業集落排水接続を促す普及員による個別訪問、下水道の日に合わせて展示ブースの設置や啓発品の配布などを実施した。

#### (3) 人と自然とのふれあいの場の確保【環境基本計画 50 頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
-----	--------	----	-----	-----	------

商工観光課	体験型観光の入込客数	人	1,100 (R7)	589 (R4)	北きりしま田舎物語推進協議会が行う教育旅行等を実施する。
-------	------------	---	---------------	-------------	------------------------------

#### (4) 植林地の適正管理と照葉樹林の育成【環境基本計画 52 頁】

##### ■数値目標の評価

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
農業振興課	再造林率	%	80.0	60.88 (R4)	森林環境譲与税を活用し、個人負担分の一部を補助した。

### 4 安心して安全かつ快適な暮らしができるまち

#### (1) 快適で安全な空間の整備【環境基本計画 55 頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
建設課	市民1人あたりの都市公園面積	m <sup>2</sup>	15.30	14.44 (R4)	緑ヶ丘公園自由広場と駐車場に設置する東屋2棟と水飲み場3基の老朽化に伴う更新工事を実施した。

#### (2) 人にやさしい都市基盤の整備【環境基本計画 57 頁】

##### ■数値目標の評価

設定なし

#### (3) 良好な水環境の保全【環境基本計画 59 頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
上下水道課 生活環境課	汚水処理人口普及率	%	94.4	77.0 (R4)	下水道接続を促す普及員による個別訪問、くみ取り槽または単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換する住居への補助事業を実施した。

(4) 大気汚染、悪臭、騒音など公害防止体制の整備【環境基本計画 62頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
生活環境課	公害苦情件数	件	0	0 (R4)	公害が発生していないため、苦情処理を実施していない。

## 5 みんなで考え、自主的に環境保全に取り組むまち

### (1) 環境教育、環境学習の推進【環境基本計画 66 頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
生活環境課	水生生物調査参加校数	校	3	2 (R4)	南小学校・永久津小学校で「水辺の学習」を実施した。
学校教育課	環境教育推進学校数	校	1	1 (R4)	東方小学校において、県の補助事業を活用して4Rや地域の自然環境に関する学びを行った。

### (2) 環境保全活動の推進【環境基本計画 69 頁】

担当課	数値指標項目	単位	目標値	実績値	取組内容
商工観光課	ISO14001などの取得企業数	件	15	10 (R4)	緑化活動の推進のため、県道1号線みどりのトンネル育樹祭に50社程の企業が参加した。 5年度は、市のHPで認証制度の周知を行う。
生活環境課	環境教室などの参加者数	人	450	453 (R4)	清掃工場の見学、講師派遣の出前講座を実施。
生活環境課	こどもエコクラブ参加団体数	団体	3	0 (R4)	登録クラブがないため、実施していない。
農業振興課	緑の少年団参加団体数	団体	3	3 (R4)	地域の花壇の手入れ、清掃など、積極的に奉仕活動を実施する団体に対し補助金を交付した。
農業振興課	緑の少年団参加者数	人	47	39 (R4)	森林体験活動や街頭でのみどりの募金の呼びかけ等を実施した。

## 重点プロジェクトの点検

### 重点プロジェクト1 地域資源を活用した脱炭素社会の実現 【環境基本計画 73頁】

環境 目標	施策の基 本方針	取組内容	点検結果
目標 1	再生可能 エネルギーの利 用促進	地域に賦存する多種多様な再生可能 エネルギーの導入を検討します。	庁内において再生可能エネルギ ーの導入をはじめとする脱炭素 の取組について啓発を行い、部 署間で協議する場の検討を行っ た。
		公共施設において再生可能エネルギ ーを率先して導入します。	庁内の施設について、再生可能 エネルギー状況把握を行う方法 を検討した。
目標 2	バイオマ ス資源 利活用	市域の特性である、家畜排せつ物や木 質資源などのバイオマスの活用を推 進します。	庁内の関係課で構成する小林市 バイオマス利活用推進協議会分 科会を実施しバイオマス活用の 推進に向けた検討を実施した。
		木質ペレット、薪、おが粉や木材チッ プの利用の拡大を図るために、市民、 事業者への普及啓発を行います。	庁内関係課及び関係事業所と普 及に向けた協議、検討を実施し た。
目標 3	植林地の 適正管理 と照葉樹 林の育成	除間伐の推進により優良形質材の生 産を図るとともに、間伐材を木質バイ オマス資源として有効活用します。	庁内関係課及び関係事業所と普 及に向けた協議、検討を実施し た。

## 重点プロジェクト2 資源循環型社会の実現

【 環境基本計画 74 頁 】

環境 目標	施策の基 本方針	取組内容	点検結果
目標 2	ごみの4 Rの推進	市民や事業者に対して継続的に4Rの啓発を行い、ごみの発生抑制とともに、発生したごみに対する分別の徹底を図ります。	リサイクル指導員を配置し、官民協同で適正分別を促進。 高齢者等の弱者に対する収集支援としてふれあい収集を実施（令和4年度新規53件）。
		学校や地域と連携し食育を推進し、食品ロス発生を抑制します。	生ごみ分別について、工場見学や出前講座の際に説明。
		市民や事業者に対してプラスチックごみの発生抑制に関する普及啓発などに取組みます。	転入者等にごみ分別の説明及び虎の巻を配布。広報誌、分別アプリさんあ〜る、LINEアプリにて適正分別等の情報を発信。
		農業用廃プラスチックの適正処理・リサイクルを推進します。	農業用廃プラスチックの適正処理のため収集及び適正排出の周知等に向けた協議及び検討を関係機関で実施した。
	環境保全 型農業	小林市バイオマスセンターなどの活用により良質堆きゅう肥の生産を促進し、耕種農家と畜産農家の連携による循環型農業の確立を図ります。	化学肥料の低減や環境負荷低減の持続可能な営農を推進するための啓発や各種事業等を実施した。
目標 3	植林地の 適正管理 と照葉樹 林の育成	除間伐の推進により優良形質材の生産を図るとともに、間伐材を木質バイオマス資源として有効活用します。	重点プロジェクト1に記載あり

## 重点プロジェクト3 市民がつくる豊かな自然環境の実現

【環境基本計画 75頁】

環境 目標	施策の基 本方針	取組内容	点検結果
目標3	豊かな 湧水の 保全	市民や事業者に対して、湧水の重要性を周知し、保全方法について啓発を行います。	湧水量調査及び湧水・地下水の水質検査を行った。
	すぐれた自然、 身近な 自然の 保全	貴重動植物の保護策を推進します。また、貴重動植物の生息地となる森林や湿地などの保全に努めます。	国・県から情報提供があった際に、庁内関係課と情報共有を行った。
		外来生物に関する情報を収集し、防除対策などの周知を行います。	ホームページなどで公開し、周知を図った。
目標4	良好な 水環境 の保全	公共下水道、農業集落排水施設への加入や、合併処理浄化槽への転換を推進します。	啓発や普及員の個別訪問により、公共下水道、農業集落排水施設への加入促進を行った。 合併処理浄化槽への転換の補助を行った（令和4年度：104基）。
		大淀川水系などの源流域の森林保全及び照葉樹林の育成を図り、水源かん養林の保全を推進します。	大淀川地域森林計画書の改定に伴い、小林市森林整備計画書の改定を実施した。
目標5	環境教育、 環境学 習の 推進	環境教育・環境学習を行うための情報を収集し様々な手法で発信します。	研修への参加などで情報収集し、広報紙やホームページなどを活用し情報を発信した。
		環境保全団体などの活動支援による保全活動の拡大や、市民が活動に参画しやすい環境を整備します。	学校や地域において環境教育・環境学習を進めた。
	環境保 全活 動の 推進	あらゆる世代の市民が様々な形態で参加できる環境保全の学習会・研修会、環境関連イベントを継続的に実施します。	環境保全やごみ減量に関する出前講座を実施した（小中学校、生きがい学級など）。
		緑の少年団やこどもエコクラブなど、子どもを対象とした環境保全活動を支援し、次世代の担い手を育成します。	緑の少年団の活動団体に補助金を交付し、講師を派遣して森林保全の説明をした。